

秋田北鷹高生27人



自分たちで作ったコメできりたんぽ作りに挑戦する生徒

きりたんぽ作りに挑戦

育て収穫したコメ使用

北秋田市の秋田北鷹高校の1年生27人が17日、授業で生産したコメを使ってきりたんぽ作りに挑戦した。鍋にして味わい、収穫の喜びを実感した。同校生物資源科では農作物について学ぶ「総合実習」の授業でコメ作りに取り組んでいる。今年は5月下旬にきりたんぽの苗を植え、10月上旬に約10分を収穫した。今

校内で生産した比内地鶏も使用した



年は猛暑により収穫量が若干落ちたものの、質の良いコメが取れたという。

生徒は炊きたてのあきたこまちをボウルに入れてつぶし、棒に巻き付けて形を整えた。炭火の上できりたんぽを置き、全体にこんがり焼き目が付くよう棒を回しながら、じつくりと焼き上げた。校内で育てた比内地鶏とネギも使い、きりたんぽ鍋を調理。完成後は出来上がった鍋を囲み、「おいしい」「しっかりと焼けている」など笑顔を見せながら味わった。

荒川知聖さんは「焦げ過ぎないように加減しながら焼くのが難しかった。自分たちが作ったコメがおいしいきりたんぽになって、頑張って生産したかがあった」と話した。

(石塚佳治)